

茨城県下妻市産の高級メロンがマレーシアを魅了

6月16日、つくば市に隣接（北西）する下妻市から稲葉本治市長はじめ中山義則市長公室長、JA常総ひかり草間正詔組合長、同千代川地区センター植田敏明営農課長、同千代川地区園芸部中里一秀副部長が MJIT の筑波大学サテライトオフィスを訪れた。今回、一行の訪問の目的は、マレーシアで高品質フルーツ、メロンの日本の地域から ASEAN 諸国、とくに活気あふれる多民族が共存しているマレーシアでの普及の試みの一環として大型デパートでの PR および試食会のためである。

試食の人数はもとより数百個のメロン（品名：貴味メロン）が瞬く間に売りきれ、マレーシアの食文化の鋭さに驚いていた。下妻市内の地域で栽培されているメロンは、高品質で低価格、特に糖度はもとより、硬さ、長持ちするなどの特徴がある。日本の四季が織りなす地域の特徴的な気候風土で安全安心して育てられたイチゴ、メロン、リンゴ、サクランボなどがまさに地域創生として、さらに独創的な栽培技術のノウハウが大いに世界に貢献できるはずだと美味しいメロンをほんのひとかけらいただきながら確信した。日本の深い味わいが心に沁みだ。 (文責：杉浦則夫、岩本浩二)



記念撮影（前列左：杉浦教授、稲葉市長、草間組合長、後列左：後藤教授、植田課長、中里副部長、岩本准教授、梅宮准教授（JICA）



JA 常総ひかりから MJIT へメロンの贈呈



KL オフィス前にて（左から後藤教授、杉浦教授、稲葉市長、草間組合長、中山市長公室長、中里副部長、岩本准教授）